

電子図書館を利用してみよう！

町内の方の利用登録を受付中です。利用ガイドなど詳しくは二次元コードからご覧ください。



New!!

新刊案内



一般書

『マリアを運べ』 睦月 準也 / 小説

『さよなら校長先生』 瀧羽 麻子 / 小説

『皇后は闘うことにした』 林 真理子 / 小説

『少女には向かない完全犯罪』 方丈 貴恵 / 小説

『その嘘を、なかったことには』 水生 大海 / 小説

児童書

『まああるいたまご』 こすぎ さなえ // 作 / 絵本

『ふねくんのたび』 いしかわ こうじ // 作 / 絵本

『まほうのアブラカタブレット』 如月 かずさ // 作 / 文学

6月カレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	7/1	2	3	4	5

■ 休館日

○ おはなし会 11 時～

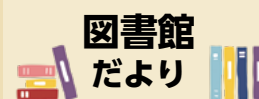
○ にこにこほっぺのおはなし会 11 時～

○ ひろたのみんなのおはなし会 11 時～



砥部町立
図書館 HP は
こちらから

Let's go
to the library



図書館
だより

開館時間
9 : 00 ~ 18 : 00

休館日

毎週火曜日

(火曜日が祝日のときは
翌日水曜日が休館)

図書整理日や
蔵書点検期間
年末年始も
お休みします

砥部町立図書館
☎(962)4400

みんなの人権

「非合理的な因習的な意識」にとらわれないようにつよう

☎ 社会教育課 社会教育係
(962) 5952

人権教育・啓発に関する基本的事項を審議した国の審議会は、同問題をはじめとする、さまざまな人権課題が存在する理由の一つとして、「非合理的な因習的な意識」を挙げています。例えば、次のようなものがあります。

六曜(ろくよう)

祝い事を行う時、大安などを選ぶ習慣(非合理的な因習)があります。令和5年に砥部町が実施した人権に関する意識調査でも、六曜について「おおいに気にする」と「少しは気にする」を合わせると、78.9%に上ります。

丙午(ひのえうま)

来々2026(令和8)年は「丙午」です。丙午は干支の一つで、60年に1度回ってくる年です。「この年は火災が多く、この年生まれ的女性は気性が荒く、夫の命を縮める」という迷信(非合理的な因習)があります。江戸時代の中ごろから広まり、当時、丙午生まれなので結婚できないと思ひ込み、自ら命を絶つ女性までいたそうです。

1966(昭和41)年前後の出生数

1965(昭和40)年	1,823,697人
1966(昭和41)年 丙午	1,360,974人
1967(昭和42)年	1,935,647人

前回の丙午である1966(昭和41)年の出生数を見ると、前後の年より大幅に減っていることが分かります。理由は、科学が進歩していても多くの人が、丙午の迷信に影響され、出産を控えたのではないかと考えられています。

皆さんには「昔から言われていることには素直に従っていい」という意識がありませんか。

部落差別も六曜や丙午と同様、科学的な根拠はなく、昔から言われている「非合理的な因習的な意識」の一つです。

差別をなくすために、日頃からこれらの「非合理的な因習的な意識」にとらわれない生活をしてはどうでしょう。